

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【356】
2. 日時：令和5年1月11日 13時30分～17時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、中村主任安全審査官、
服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、谷口技術参与、山浦技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
藤原技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他11名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当 他1名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書(原子炉建物天井クレーン等、使用済燃料貯蔵ラック等、制御棒等、ガスタービン発電機用軽油タンク等)について、令和4年12月23日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【溢水源としないB、Cクラス機器のうち屋外タンクの耐震評価方法について】

○ 組合せ応力の計算式について、設備によって主応力とミーゼス応力を使い分けている考え方を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし